

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 741 号
2023年 3月 1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

第39回 商売繁盛・交通安全 祈願会

2月3日 西尾コンベンションホール

毎春、原料納入事業関連の皆様と行います「商売繁盛・交通安全祈願会」ですが、今年もコロナ禍での対応として当社で代参させて頂きました。

例年通り、三ヶ根山頂の三ヶ根観音に参詣し、今年の商売繁盛と交通安全を祈願致しました。厳かに護摩を焚き、音吐朗々と読経、お預かりした皆様の名前を高らかに名乗り、「商売繁盛・家内安全・身体健全・開運招福・職員並びに従業員一同無事息災」と一心に祈願させて頂きました。

1月30日の代参当日は晴天に恵まれ、七難即滅、七福即生と祈願致しました。



三ヶ根観音

2月3日 スケジュール

16:00 開会 代参ビデオ

16:10～16:25 社長放談

16:30～17:00 特別講演

講師 名港海運株式会社

常務取締役 横井 勇氏

17:30～19:30 「懇親会」



代参ビデオ上映

天野卓社長新春放談

2023年、謹んで新年のお喜びを申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

振り返りますと、2020年（R2）1月に滑り込みで、36回祈願会が開催でき、21年、22年の正月は代参という形で皆様のご理解を頂きました。今年はまだ、コロナ禍ということもあり形を変えての開催ですが、多数の会社さんにご出席いただき、ありがとうございます。

昨年も毎月、毎月ブレーキを踏みながらの稼働でご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力により6月には創立80周年記念祝賀会を無事に開催することができました。感謝申し上げます。

まずは、ここ数年のアルミスクラップの輸出実績をご覧ください。財務省の貿易統計によるとアルミ缶以外のアルミスクラップ輸出は、

2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
21.4万トン	29.9万トン	36.6万トン

アルミ缶の輸出は、2022年数量 7.1万トン
2015年より統計をとりだして、アルミ缶の71千トンは2年連続で減少、その他のアルミ輸出量は3倍になったそうです。

国内でのリサイクルが注目される中、今後のリサイクル社会に向けて、この流れがどう変わるのか、興味が持たれます。

DX(デジタル・トランスフォーメーション)

営業部では、品目の番号化で統計をとりやすく改善中です。生産部では、省人化、作業環境の改善を進めています。

GX(グリーン・トランスフォーメーション)

我々の存在自体がGXです。皆様の益々の活躍が期待されています。

当社では、長期視野に立って、生産システムの効率化、溶解炉の構造を改善中です。

月3000トンの生産には日に約165トンの原料が必要となります。皆様のご協力がなければ、このアルミリサイクルの輪は維持できません。お蔭様で、アスカ工業のインゴットの愛好者はますます増えています。これも、安心して使える原料を、安全にいてねいに生産して、安全にお届けし、安心してお使いいただくというサイクルで完結しております。1つでも欠けてしまうと信用を失ってしまいます。

今後も、今まで以上にアスカ工業ファンを広げてまいりたいと思いますので、引き続き皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

今年は、卯年です。種をまき、後半に向けて、ジャンプする準備を進めていきましょう。



天野社長新春放談

特別講演

「コロナ禍で発生した物流混乱から
今後のサプライチェーンを考える」

講師 名港海運株式会社 常務取締役 横井 勇氏

2022年までに発生した出来事を振り返ると、コロナ禍による各国のロックダウン、巣ごもり需要、半導体を中心とした部材不足などサプライチェーンの混乱、ロシアのウクライナ侵攻により欧州各国でエネルギー価格高騰によるインフレの発生、湾岸機能の停滞などが挙げられる。

コロナ禍がもたらした海上輸送の影響として2020年船会社が減便、急激な荷量の増加、空コンテナ不足、港湾作業の遅延。2021年運賃高騰、荷物滞留。2022年荷量の減少、運賃下落、北米西岸ストを予想した在庫の積み増しが起きた。

ロシアのウクライナ侵攻による物流の影響として、ガソリン、電気代の上昇、慢性的なドライバー不足、ロシア上空航行禁止などが挙げられる。またロシア向けに船積みされていた貨物を東南アジアなど他国への販売に変更される動きもみられた。対するウクライナ側の動きとして20万人の予備役と志願者への軍事訓練や原発への攻撃を想定したヨウ素の配布などがある。現状650万人もの人がウクライナから避難している



るようだ。

2023年の見通しとしてコロナウイルス蔓延によるサプライチェーンの混乱やロシアウクライナ問題などがあげられるがこれも不確定要因で今後の動向を注視したい。また原材料や中間財の在庫増やストライキなど物流混乱に備え、ロシア問題のリスクに対処したい。

今後のサプライチェーンで留意すべきことは、JIT (Just in Time) + Just In Caseの視点。在庫の積み増しや代替輸送ルート、生産移管など有事を想定したSCM (サプライチェーンマネジメント) の構築を考えなければならない。(文責 松川 剛士)



大懇親会

三河灣のしおひがり

西尾市では、3月から7月頃まで、三河灣に面した海岸で、潮干狩りを楽しむことができます。愛知県産の「あさり」はきわめて質が高く、春の味覚として全国的に有名です。

潮干狩が楽しめる時間帯は、日付、場所によって異なりますので干潮時刻をご確認ください。干潮の2時間前程度から干潮までが最適です。ただし、土日・祝日は交通渋滞の可能性がありますのでご注意ください。



〔西尾観光ガイドマップより〕

社内情報

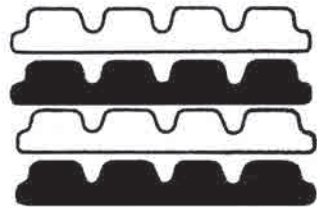
- ◎春の恒例行事「商売繁盛・交通安全」祈願会を皆様のご協力の下、再開することができました。
- ◎講師をお引き受け頂いた、名港海運株式会社の横井常務さんには、大変内容の濃いセミナーをご講演頂きました。誠にありがとうございました。
- ◎日足が伸び、各所で梅の花の香りが漂います。隣接する矢作川の堤防も若芽で美しく化粧する好季節を迎えます。本当の意味での春が待ち遠しいです。

編集後記

- 2月11日、12日と西尾城プロジェクトマップが開催されました。丑寅櫓に鶴が舞い、花が咲き乱れる映像に多勢の観客は酔いしれました。
- 米国で気球が墜落された事例を発端に、日本への飛来事例も明るみに。正体はいったい何なのでしょう。
- 日銀総裁に経済学者の植田和男氏起用の人事案が提示されました。異次元の金融緩和の出口を探る仕事を託されることで特別に注目を浴びます。

アルミ缶リサイクルング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)
アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500(代)
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>